

平成28年度 大分市公共下水道事業会計 当初予算のポイント

資料1

経営状況等

平成28年度大分市公共下水道事業会計当初予算につきましては、収益的収支で約2億8千万円の純損失を計上しますが、内部留保資金繰越額は約**1.1億円**を確保する見込みです。

公共下水道事業は、整備費の財源に活用した企業債の償還費が事業経営にとって大きな負担となっており、今後さらに普及率の向上に努める必要がある中、施設の老朽化に伴い改築更新費の増加が見込まれています。

こうしたことから、平成24年度から平成29年度を計画期間とした「大分市公共下水道事業中期経営計画」を策定し、単年度の建設改良費を汚水3.0億円、雨水を合わせても4.0億円以内に抑えるとともに、平成29年度には収益的収支を黒字化する等の目標達成に向け、公共ますへの早期接続や使用料収納率の向上をはじめ、業務執行方式の見直し、職員の適正配置等、経営健全化に向け積極的な取組みを進めています。

大分市公共下水道事業中期経営計画の取組み

	目標（平成29年度）	平成28年度当初予算
人口普及率	61.9%	61.9% (平成27年度末見込み)
水洗化率	91.7%	88.6% (平成27年度末見込み)
収支バランス	収益的収支を「黒字」	△277,452千円
一般会計繰入金	基準外繰入金を「0」	413,294千円

※平成25年度に平均改定率13.0%の使用料改定を実施し、平成29年度に再度13%程度の改定を計画している。

平成28年度 当初予算の状況

(単位：千円)

区分	平成28年度	平成27年度	増減	説明
収入	11,914,769	11,913,124	1,645	使用料収入 5,468,708 基準外繰入金 413,294
支出	12,048,811	11,860,275	188,536	
収益的収支	△134,042	52,849	△186,891	
当期純損益（消費税抜き）①	△277,452	△123,577	△153,875	
収入	6,381,589	7,004,953	△623,364	国庫補助金 1,280,944 企業債 3,254,100
支出	9,990,189	10,596,725	△606,536	建設改良費 3,862,911 企業債償還 6,101,769
資本的収支②	△3,608,600	△3,591,772	△16,828	
前年度からの繰越金	1,281,451	1,316,525	△35,074	
当年度損益勘定留保資金	3,682,743	3,690,576	△7,833	長期前受金戻入を除く
計③	4,964,194	5,007,101	△42,907	
翌年度への繰越金①+②+③	1,078,142	1,291,752	△213,610	

企業債残高の状況

(単位：千円)

区分	平成28年度			平成27年度	増減
	計	汚水	雨水		
企業債残高	88,384,516	62,372,418	26,012,098	91,232,185	△2,847,669

主な事業

《収益的収支》 下水道施設の維持管理など、日常の事業活動に伴う収支
(主な支出)

- 水資源再生センター包括維持管理業務委託 1,235,504千円
- 汚泥運搬・処分業務委託 490,482千円
- 使用料徴収事務委託料 233,180千円

《資本的収支》 下水道施設の建設・改良など、投資にかかる収支

(主な支出)

- 汚水管渠建設費（新設管渠） 1,502,500千円
- 賀来古国府汚水幹線（1,2工区）工事関連 216,300千円
- 大道弁天汚水幹線耐震化工事 100,000千円
- ふじが丘地区外マンホール改築工事 85,000千円
- 宮崎水資源再生センター中央監視設備改築工事外 389,000千円

(平成28年度～平成29年度 実施事業)